

授業科目(ナンバリング)		教育原理 (QA122)		担当教員 担当形態		乙須 翼 単独			
教員免許状取得のための選択の別	必修	単位数	2単位	開講年次	1年	展開方法	講義	開設時期	後期
科目	教育の基礎的理解に関する科目								
各科目に含めることが必要な事項	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想								
授業のねらい									アクティブラーニングの類型
本授業では、教職を目指す学生が、西洋および日本の教育史の基礎知識を習得した上で、近代の学校教育を支える思想や理念を理解し、教育という営みを歴史的な観点から批判的に考察することができるようになることを目標とする。なお、授業内容の理解度の確認と、学生の批判的思考力を養うため、毎回授業に関連した質問の回答をコメントとして文章で提出してもらい、教職学生としての基礎力の形成を図る。									① ② ⑧
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率	
専門力	西洋教育史と日本教育史の基本的事項(人物、概念、語句、制度等)を説明することができる。教育を支えている理念を、歴史的、思想的な背景から説明することができる。					定期試験		35%	
情報収集、分析力	毎授業提示する問いに対して、授業内で学んだ教育の歴史や思想に関する知識を整理・再構成した上で、その回答を適切な形でまとめることができる。					コメント		10%	
コミュニケーション力	設問に対する解答や自分の見解を、適切な語句や表現を用いて論理的に説明することができる。					定期試験		10%	
協働・課題解決力	教職を目指すものとして、教育の理念や歴史、思想に興味を持ち、自ら教育の原理的な問いを探究することができる。					授業への参加 コメント 定期試験		10% 10% 15%	
多様性理解力	自分が無意識に前提としている子ども・家族・教育に関わる価値観が、どのような歴史的、思想的な文脈の中で作られて来たのかに気づき、その特徴を指摘できる。					コメント		10%	
出席						受験要件			
合計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
授業内容の理解度の確認と、学生の批判的思考力を養うため、毎回「コメント」を提出してもらおう。S評価のコメントを授業後マナバにアップする形で学生にフィードバックする。									
授業の概要									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の歴史について <ul style="list-style-type: none"> <li>: 近代学校教育制度が成立する以前から誕生、成立にいたるまでの教育の歴史を検討する。</li> <li>子ども達の生活や学び、育ちの形態が時代と共に変化していく様を検討する。</li> </ul> </li> <li>・教育の思想と理念について <ul style="list-style-type: none"> <li>: 教育思想家の思想を、その思想家が生きた歴史的背景と共に検討する。</li> <li>学校教育を支える思想と理念の特徴を考察する。</li> </ul> </li> </ul> <p>授業は基本的に教科書と配付資料を説明する形で進めるが、グループワークも取り入れる。また、授業中に予習の確認や基本事項の復習など、受講者に発言を求める。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>									
教科書・参考書									
<p>教科書：勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る』(2011) あいり出版</p> <p>参考書：片桐芳雄・木村元編著『教育から見る日本の社会と歴史』(2008) 八千代出版</p> <p>今井康雄編著『教育思想史』(2009) 有斐閣</p> <p>指定図書：勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る』(2011) あいり出版</p>									
授業外における学修及び学生に期待すること									
本授業では歴史的内容も多く含むため、教科書や授業中に提示する参考書(もしくは歴史の教科書)などを使って、理解を深めて欲しい。授業前には教科書の事前講読とKeywordの予習を行い、授業後はコメントで復習することを強く勧める。また授業は漠然と聞くだけではなく、授業の内容と自身の考えとを常に対話させるよう心がけてもらいたい。加えて、教師というやりがいも責任もある職業を目指すものとしての自覚ある態度を期待する。									

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	教育とは何か	教育の原理を問うとは	予) シラバスを読み授業の内容について確認する 復) レジュメの見直し
2	中世社会における学び①	〈教育＝学校〉が成立する以前の子どもの育ちと学び (1) Keyword : 教皇, 中世の三身分, 荘園	予) テキストの 19, 32-34, 155-156 頁を読む 復) レジュメの見直し
3	中世社会における学び②	〈教育＝学校〉が成立する以前の子どもの育ちと学び (2) Keyword : 騎士, ギルド, 徒弟制	予) テキストの 19, 23-25, 155-156 頁を読む 復) レジュメの見直し
4	中世社会における学び③	中世社会における学問の意味と聖職者の学び Keyword : ラテン語, 修道院, 自由七科	予) テキストの 20-23 頁を読む 復) レジュメの見直し
5	中世社会における学び④	大学の成立と文字文化のひろがり Keyword : 中世ヨーロッパの都市, スコラ学, 万国教授資格	予) テキストの 24-32 頁を読む 復) レジュメの見直し
6	近代の教育思想①	宗教改革と教育 Keyword : ルネサンス, ルター, 世界図絵	予) テキストの 36-52 頁を読む 復) レジュメの見直し
7	近代の教育思想②	ロック・ルソーの教育思想 Keyword : 市民革命, 早期教育, 消極教育	予) テキストの 53-60 頁を読む 復) レジュメの見直し
8	近代の教育思想③	ペスタロッチ・フレーベル・ヘルバルトの教育思想 Keyword : 掛図, 恩物, 五段階教授法	予) テキストの 70-85 頁を読む 復) レジュメの見直し
9	学校教育の理念と思想①	近代的学校空間の成立 Keyword : 産業革命, イギリス国教会, モニトリアル・スクール	予) テキストの 111-124 頁を読む 復) レジュメの見直し
10	学校教育の理念と思想②	公教育の理念と国民教育制度の構築 Keyword : 独立革命, コモン・スクール, 地方分権	予) テキストの 60-67, 161-186 頁を読む 復) レジュメの見直し
11	学校教育の理念と思想③	新教育の思想 Keyword : 児童の世紀, 子ども中心主義, デューイ	予) テキストの 86-102 頁を読む 復) レジュメの見直し
12	日本の教育のあゆみ①	近世における学び Keyword : 藩校, 往来物, 丁稚奉公	予) 近世における学びについて考えておく 復) レジュメの見直し
13	日本の教育のあゆみ②	日本における近代教育制度の誕生 Keyword : 明治維新, 学問のすゝめ, 立身出世	予) 日本の教育制度はいつどのように始まったかを考えておく 復) レジュメの見直し
14	日本の教育のあゆみ③	国民教育制度の確立 Keyword : 師範学校, 複線型教育制度, 修身	予) 戦前の教育について考えておく 復) レジュメの見直し
15	日本の教育のあゆみ④	敗戦と戦後の教育改革 Keyword : 国民学校, GHQ, 学習指導要領	予) 戦後に行われた教育改革について考えておく 復) レジュメの見直し
16	定期試験	筆記試験	試験の準備学修